



犬のきもち
猫のきもち
僕のきもち

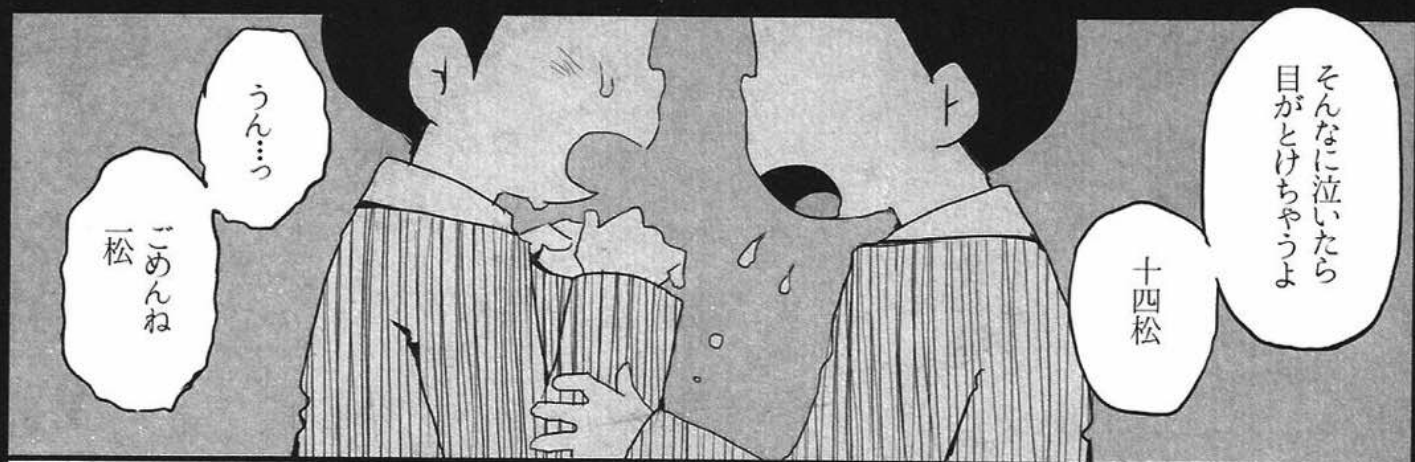
1x14
R.18

「泣いてる弟を
慰めたい」
切欠はそんな
些細なことだった

子猫？

ああ
すごく可愛いんだ





そんなに泣いたら
目がとけちゃうよ

十四松

うん……

ごめんね
一松

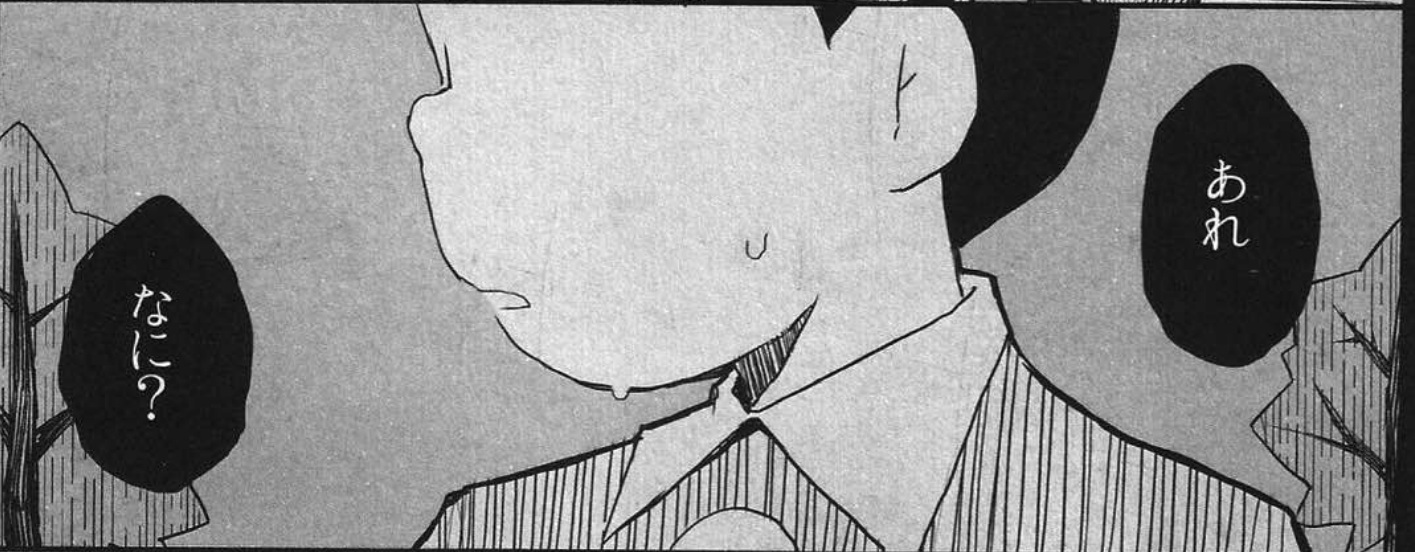


ほら 着いた

子猫
今日はあるかなあ

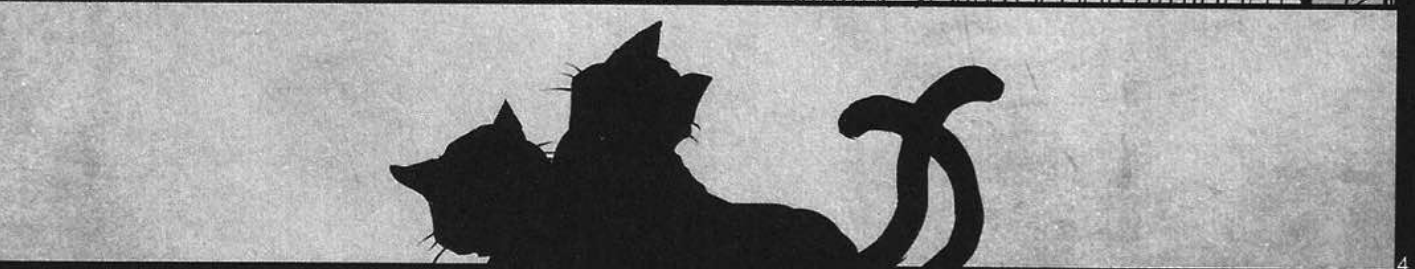
どうしたの?
十四松

一松



あれ

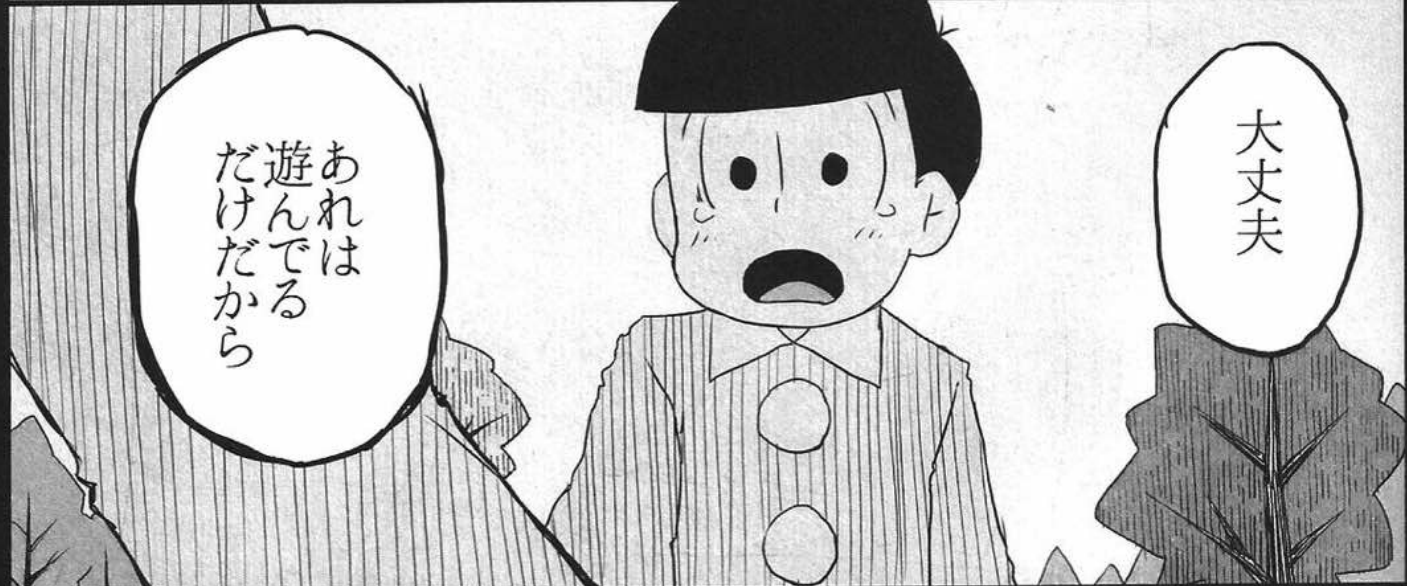
なに?





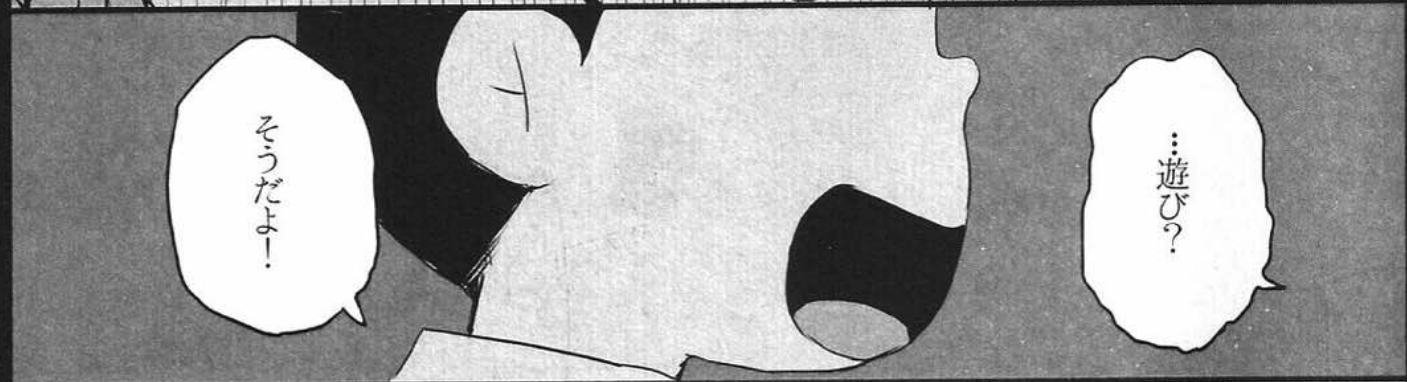
そう怖がる弟の
手を引いて
来た道を引き返した

食べられてるよ
あの猫
死んじゃうよ



あれは
遊んでる
だけだから

大丈夫



そうだよ!

…遊び?



僕の言うことを
疑いもせずに

他の奴だったら
こっちはいかない

そう…
それだったら

良かった…

良かった…っ

結局その日
子猫を見せることが
叶わなかったのに

弟は泣き止んだ

…そー言えば

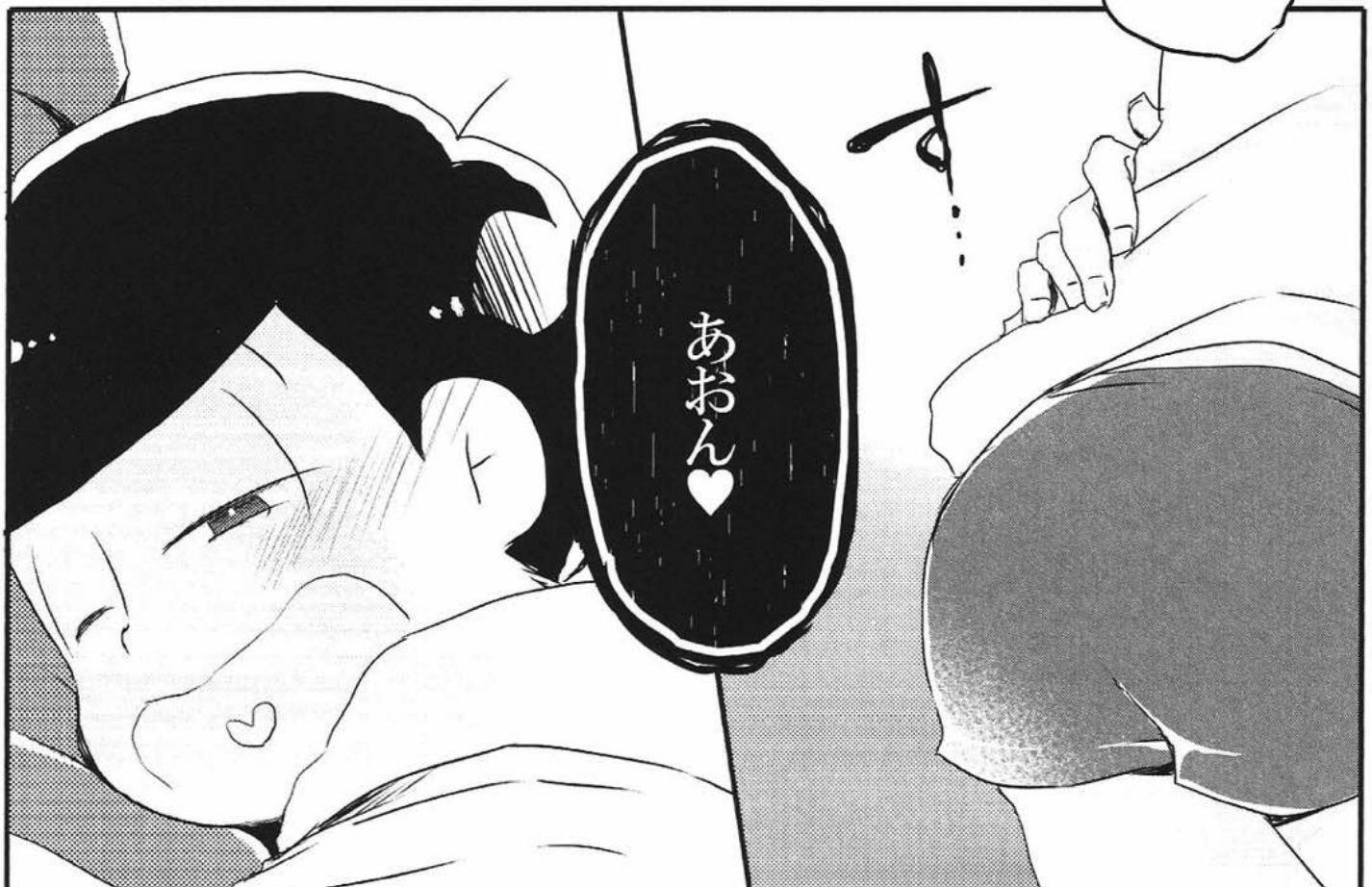
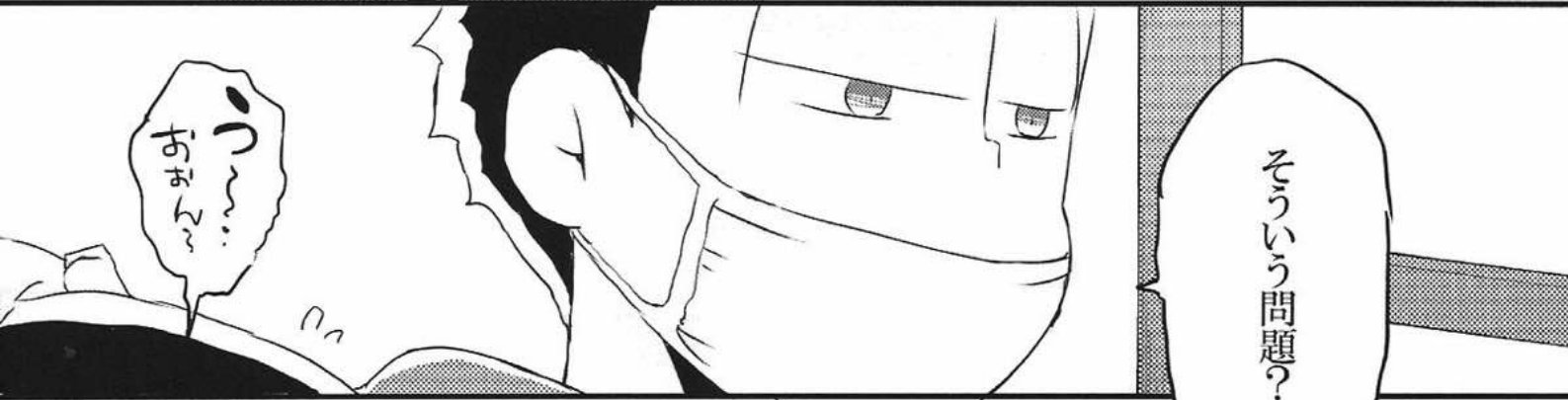
あれから
あそこに行つてないな

一人で

…ただいま

おかえりー









また
そうやって
気を引いてくる

その頃の
僕は

僕たちは
ひとつの個体では
いられないのだと
日々感じる焦燥感を

兄弟たちや
外の世界に
抱いてばかりだった

…ありがとう！
一松

いいよ
十四松なら

だからこそ
こいつの優しさには
こそさら弱かった

静かになあ？

う、うん…

ただ
それだけだった

猫？
猫いた？

しっ 十四松
ちよつと

だま





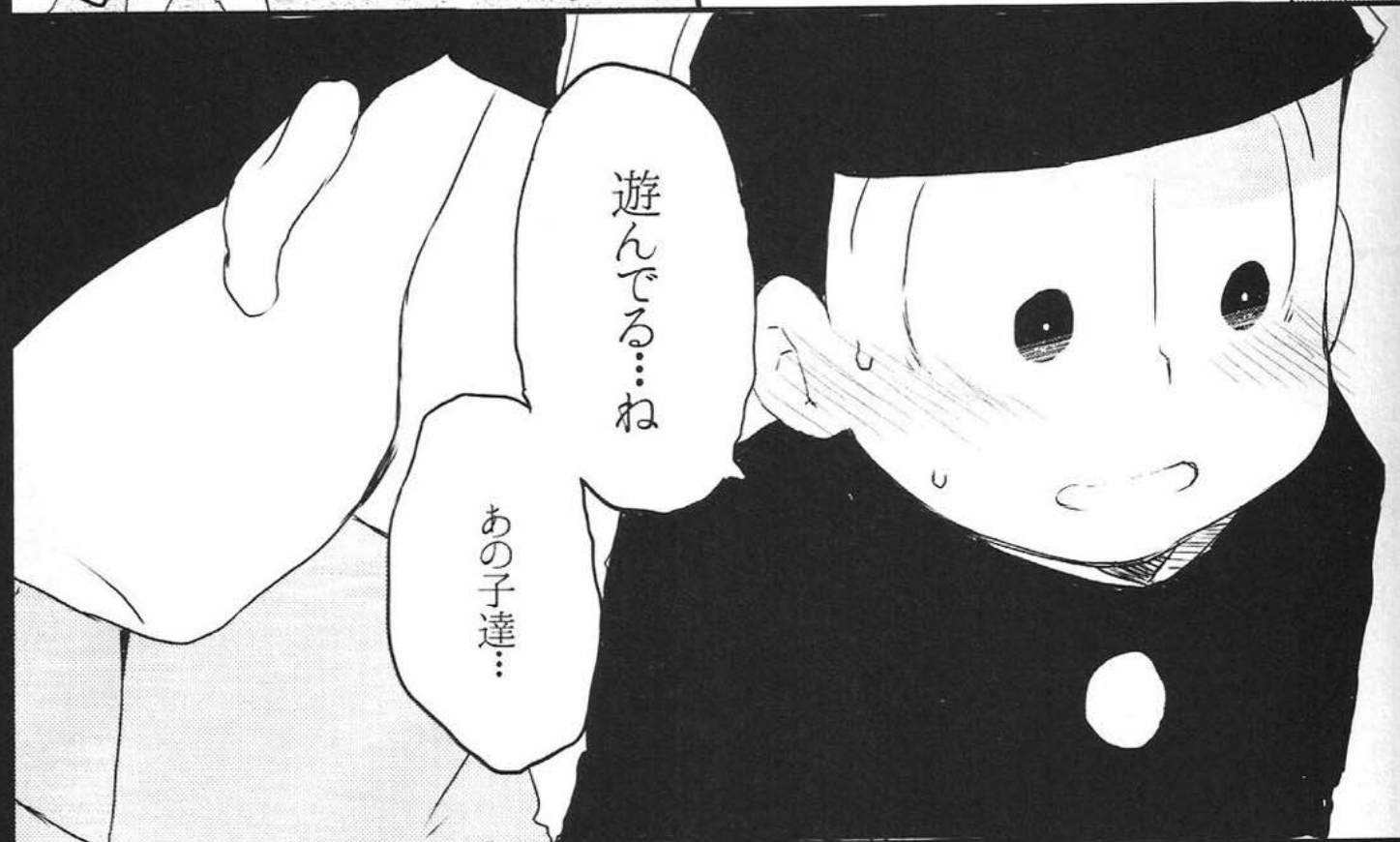
あー…

他のやつらが
来ちやったのか…

子猫…いない
もう連れて
いかれちやったな

十四松 戻ろ

あ



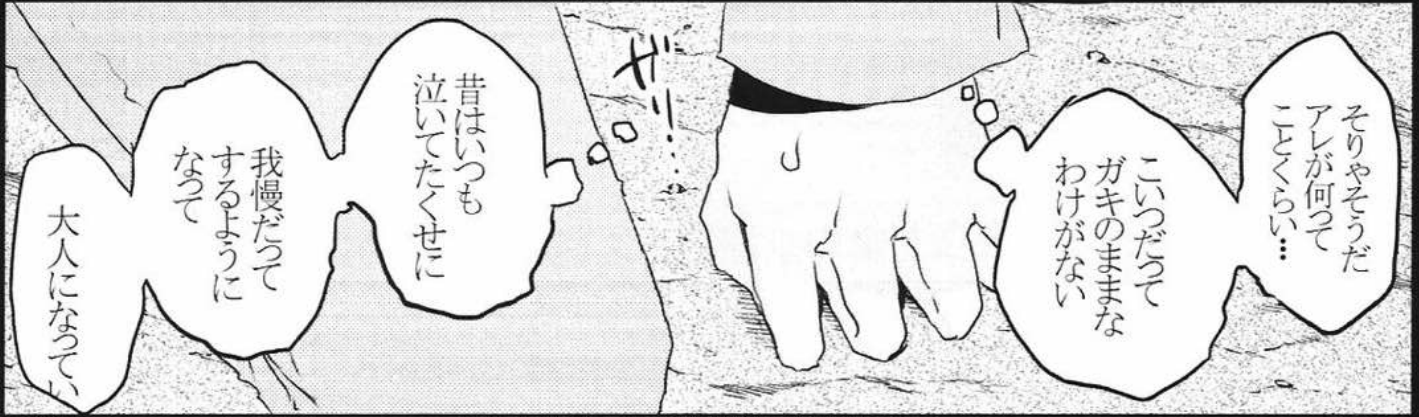
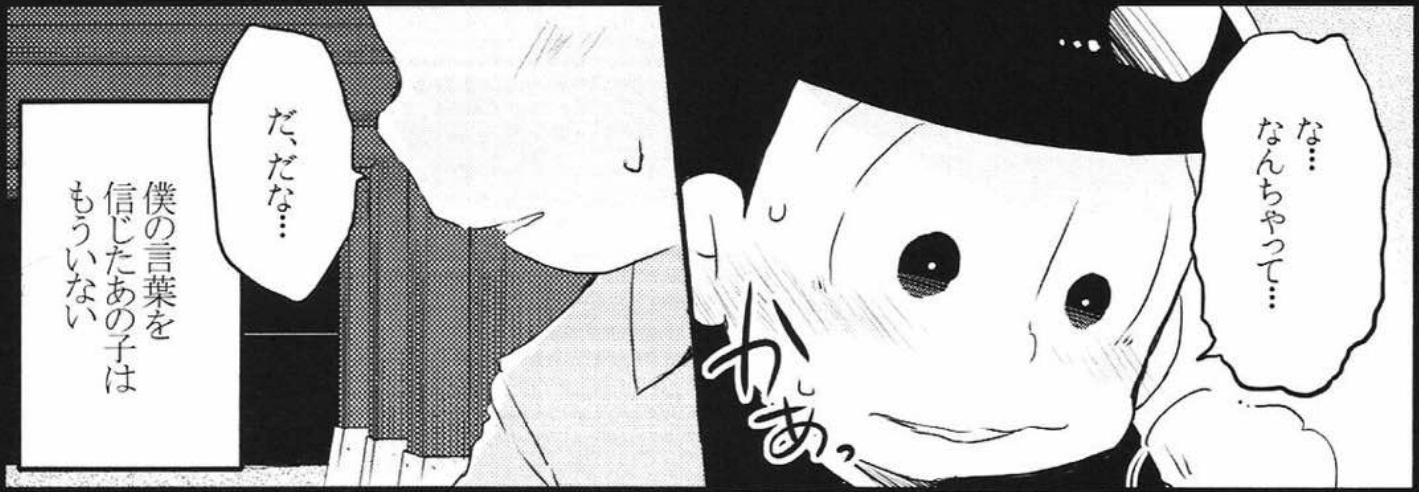
遊んでる…ね


あの子達…

大丈夫

あれは
遊んでる
だけだから

それは
まぎれもなく
僕の言葉





僕たちも
あの遊び
してみよ?

僕が負けたら
…そうだな
明日は学校に行くよ

は?
え
いちま

だから遊びだよ遊び
アレみたいにお互い
猫の言葉ニャーしか
言っちゃだめね

最後まで出来た方の勝ち
負けの方は勝った奴の
言うことを何でも聞く

へらっ

…それってさ
犬でもいい…？

俺…犬の方が
好きだなあ…

本当にお前は優しいね

だから僕なんかは
つけまわれる

うーん

あ…よかった

震えていたのは最初だけ
僕たちは若かったから
体の方が先に順応して

只の触りあいから
いつのまにかキスにまで
エカレートしてて

三ヶ月もたった頃には
もう随分とたちの悪い
遊びになってしまっていた

そして



…ねえ

わおんっ?



十四松兄さん
わんちゃんみたーい



僕 今日には
にやーにやーの
気分なんだけど…



…にやあ♡

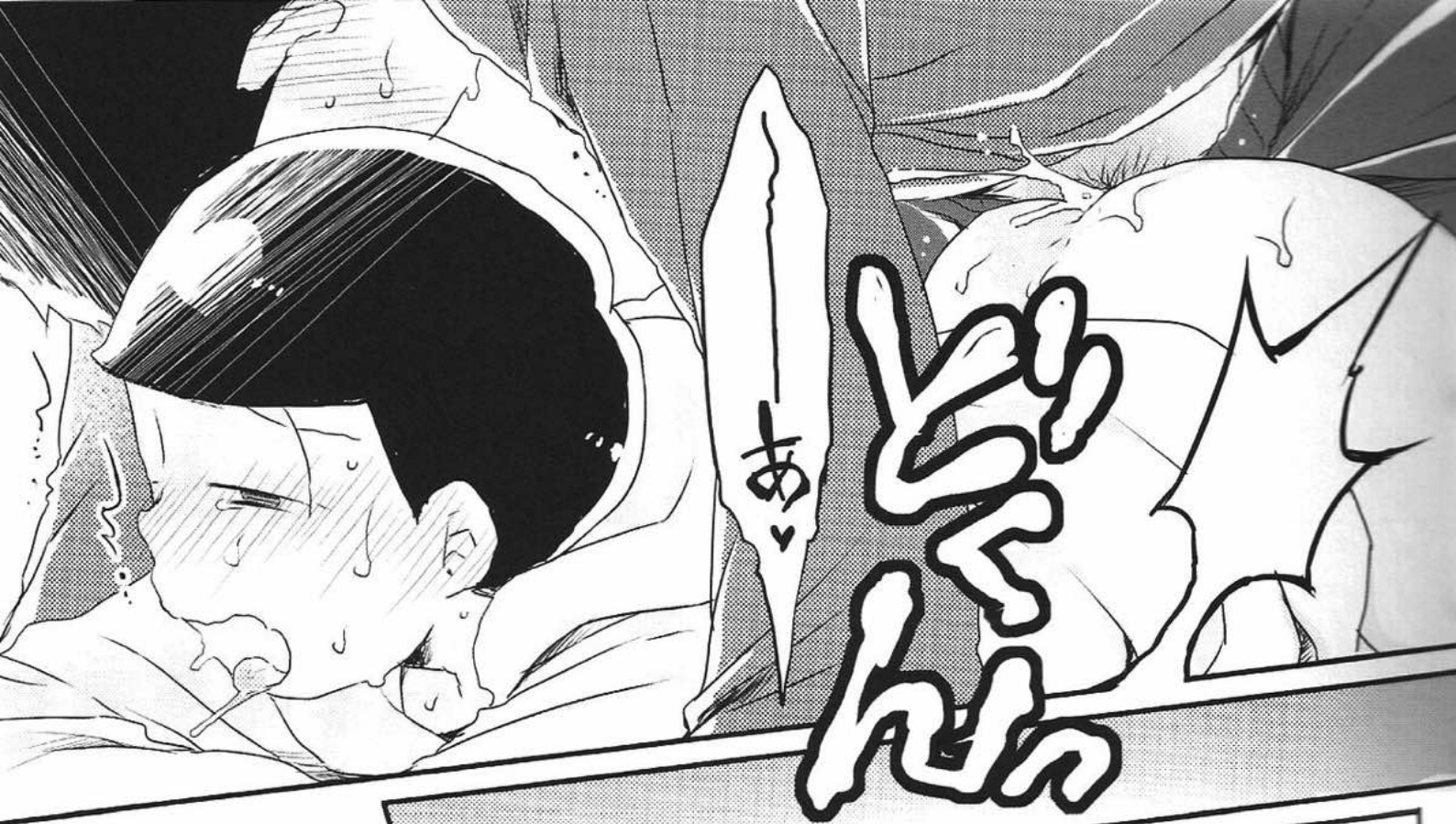


にやあん...♥

はあ

にやあん





どろん



う…
今日はどーしても
勝ちたかったの!



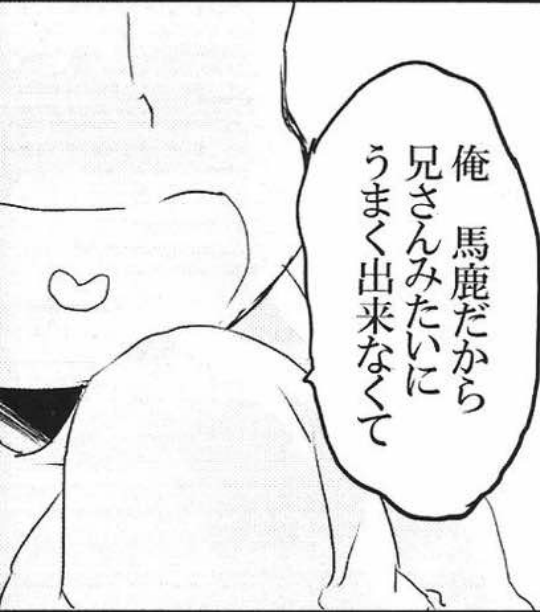
おー
何で兄さん
中で出したのあ?

ズルした
罰だ
罰

…なんで?..

あのね

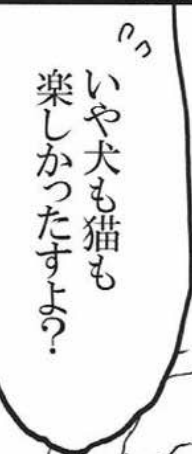
今日でこれ
終わりにしよ



俺 馬鹿だから
兄さんみたいに
うまく出来なくて



でもやつば
俺には
わかんねえなつて



いや犬も猫も
楽しかったすよ？



ああ ついに来たか



わか



だからさ




違つよ十四松
馬鹿なのは



次からは
人間の言葉で
よろしくおなしゃーす


ゴリッ





その方が
伝わることもいっぱい
あると思うんだあ

25



そしたら
もう寂しく
ないでしょう？



どろりしよう
いらだつて僕は

この優しくて
馬鹿で
愛おしい弟に





OSOMATSUSAN
114FANBOOK

coconut bless
20160124